

平成22年度学校経営計画

音戸中学校区 校番(35) 田原小^学

校長名 堂 免 寛 印

学校教育目標

豊かな人間性と自立心をもつ子どもの育成 — 義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を育成する—
(自ら学び、心豊かな子どもの育成)

ミッション(地域社会における自校の使命・存在意義)

統合に向けて、児童に確かな学力をつけ、どのような集団においても自他を生かしていくことができる子どもを育成する。
 また、長い歴史のある学校の文化を引き継いでいくことのできる子どもを育成する。

ビジョン(目指す学校像・自校の将来像)

小中9年間の連続した学びを通して、知・徳・体の調和のとれた学校教育を推進し、確かな学力、豊かな心、健康でたくましいからだを身につけさせる。田原小で学ぶ喜びが感じられ、児童も教職員も誇りのもてる学校を目指す。他校との交流等、小規模校の特色を生かした教育を推進する。

現状分析

- ・ 少人数のため、一人一人に応じたきめ細かな指導が出来る。
- ・ 少人数のため、集団思考をする場の不足、コミュニケーション力・表現力等に課題がある。
- ・ 地域・保護者が学校教育に対して協力的である。
- ・ 児童が保護者に大切にされすぎている面がある。

目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
1 豊かな表現力を育成する。	対話する力を育成する。 (反応しながら聞く技能) (伝える技能) 音読・群読の技能をつける。	授業の中で、対話する場面を設定し、技能を習得させる。 対話する中で、技能を習得し、達成感を味わわせる。 国語の時間に必ず音読の時間をとる。 表現朝会等で、年間を通して全校で音読・群読する。
2 積極的な生徒指導を推進し、生き生きと活動する子どもを育成する。	あいさつ・返事の徹底をする。 たてわり班の活動を充実させ、よさを感じることが出来る。	授業中・朝・帰りと来校者に対しても気持ちのよいあいさつができるように習慣化する。 名前を呼ばれたら「ハイ」と元気よく返事をする。 そうじ、集会活動をたてわり班で計画的に実施する。 そうじの仕方を教え、時間いっぱい活動させる。
3 豊かな心を育てる。	○ 貫 道徳の授業を充実し、感謝の心を育てる。 読書好きな子どもを育てる。	道徳の参観授業を行い、共に考える。 行事等で感謝の気持ちを表す。 読み聞かせ・ブックトーク等を行い読書に興味をもたせる。 読む目標を立て読書マラソンを実施する。